



# 合志市の元気な子どもたち

(子どもフェスティバル)

合志市 議会だより 第31号

2013年9月定例会

# きすな



## 主な内容

### 決算認定

前年度に比べて歳入0.9%増加、  
歳出5.6%増加

### 一般会計補正予算可決

### 整備工事可決

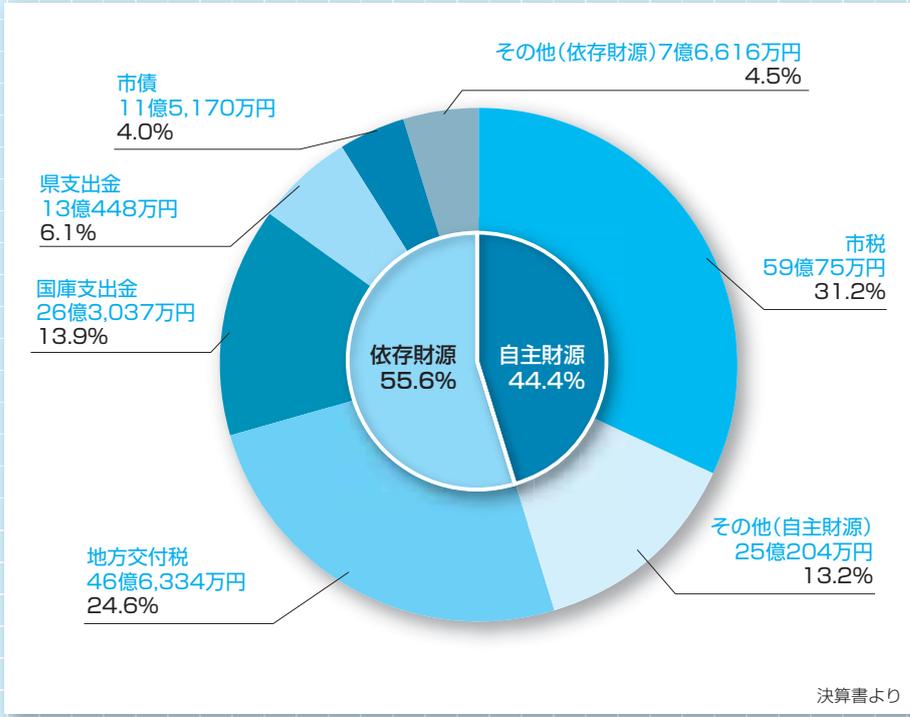
防災行政無線が新しくなります

追跡 あん質問はどぎゃんだった

議会インターネット中継開始!!  
市のホームページよりご覧いただけます

# 歳出決算を認定しました

**歳入 189億1,884万円**

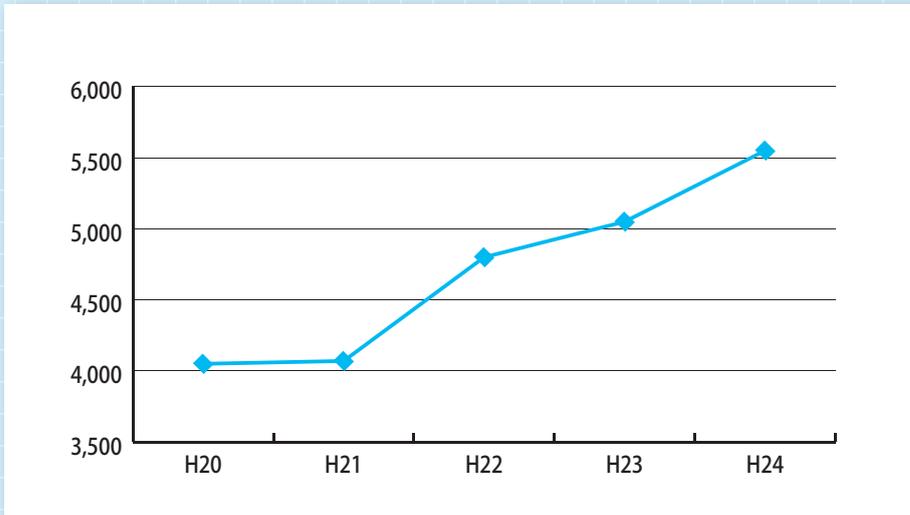


※市税と地方交付税の増加により、前年比0.9%、1億6,880万円の増となっています。  
 市税は前年に比べ1億1,176万円、地方交付税が9,922万円増加しています。  
 また、自主財源比率も前年度39.8%から44.4%と4.6ポイント増加しました。

9月定例会は、9月3日から24日までの22日間の会期で開催しました。  
 合志市税条例の一部を改正する条例など条例2件、平成25年度一般会計・特別会計補正予算など予算3件、平成24年度決算8件そのほか専決処分案件、平成24年度一般会計継続費精算の報告など合わせて合計17件が上程されました。  
 いずれも原案を可決・認定しました。  
 また請願3件について審議し、1件を採択しました。  
 最終日に防災行政無線更新整備工事請負契約の締結など2件、議員提出議案として「地方税財源の充実確保を求める意見書」の提出など2件が追加提出され可決されました。  
 一般質問は、10人が市政に関する問題を質問しました。

## 基金の推移(H20~24)

単位:百万円



※平成24年度末、基金残高は55億8,989万円で市民1人当たり基金(貯金)97,214円です。  
 ・平成24年度決算の実質収支9億6,937万円の内、5億円を財政調整基金に繰り入れたためです。

## 平成25年第3回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
9	3	火	本会議	市長提出議案上程及び説明
	9	月	本会議	質疑、委員会付託
	10	火	常任委員会	付託事件の審査
	11	水		
	12	木		
	13	金		
	17	火	本会議	一般質問
	18	水		
	19	木		
	24	火	本会議	委員会報告(質疑、討論、表決) 議員提出議案(上程、質疑、討論、表決)

## 平成25年度 一般会計補正予算

合志庁舎1階照明のLED化  
..... **1,200万円**

児童発達支援・  
放課後等デイサービス給付金  
..... **2,404万円**

強い農業づくり交付金  
..... **2,949万円**

道路改良等工事  
..... **2,410万円**

## 追加議案

合志市防災行政無線整備工事  
請負契約  
..... **4億5,633万円**

公募型プロポーザル方式

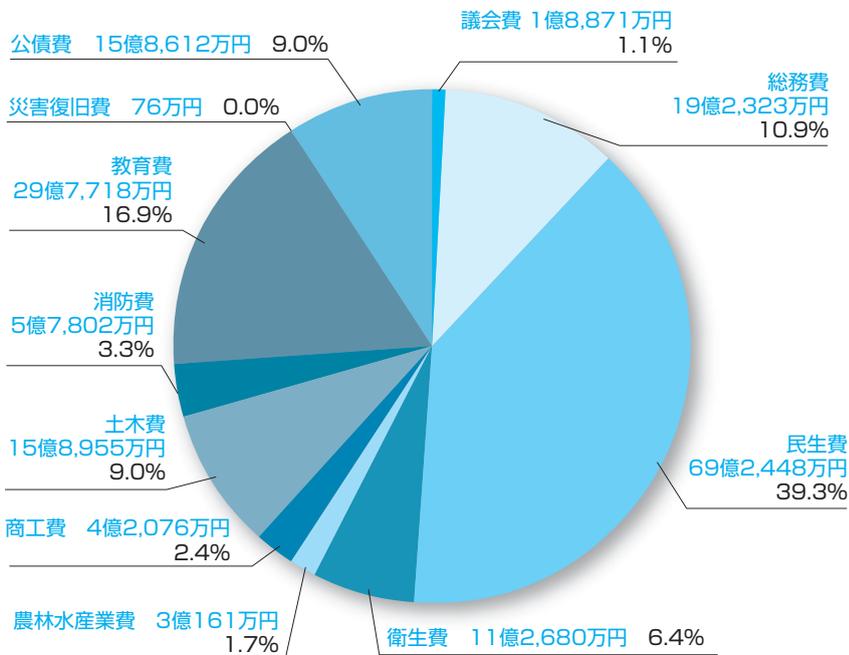
## 条例改正

合志市税条例の一部を  
改正する条例

※地方税法の一部改正により公的年金からの特別徴収の年間の徴収税額の平準化と、金融所得課税の一体化を図るため

# 平成24年度 合志市一般会計歳入

**歳出 176億1,722万円**  
剰余金 13億161万円

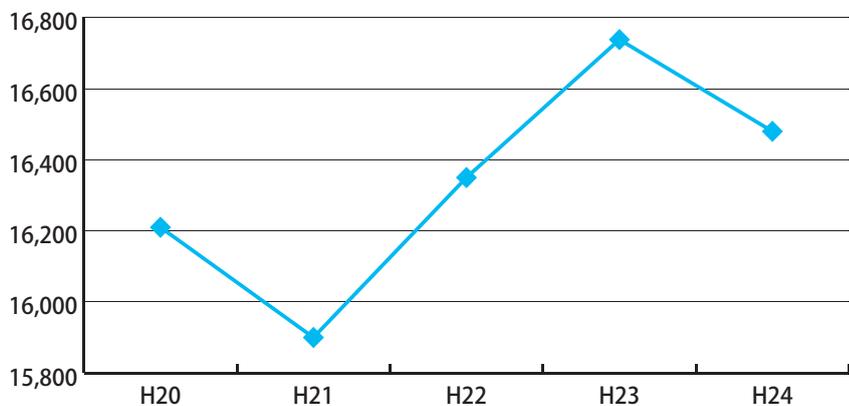


決算書より

※前年度に比べて5.6%、9億3,758万円増加しています。  
総務費が2億170万円の増、西合志庁舎空調改修工事等が主な要因です。  
また、商工費3億2,458万円(逢原第二工業団地用地購入)、教育費6億5,483万円の増となっています。

## 市債の推移(H20~24)

単位:百万円



※平成24年度末、市債残高は164億8,135万円で市民1人当たり市債(借金)は286,627円です。  
・平成21年度に市債が大幅に減少しているのは、利率の高い起債を繰り上げて償還したためです。  
・平成22、23年度に市債が増加している要因は、臨時財政対策債と合併特例債が増加したためです。  
・平成24年度市債の減少は翌年度借入を行う事業が多く、借入額が減少したためです。

# 請願

国立ハンセン病療養所の職員削減を行わず  
医療・介護・福祉の充実を求める請願書

請願者 全国ハンセン病療養所入所者協議会

菊池支部 支部長 志村 康

全日本国立医療労働組合

恵楓園支部 支部長 高本ひろ子

採択

「年金2・5%削減法」を廃止する意見書  
採択に関する請願書

請願者 全日本年金者組合熊本本部

執行委員長 国宗 直

全日本年金者組合菊池・山鹿地区支部

支部長 田上昭一郎

不採択

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」  
の提出を求める請願書

請願者 消費税廃止熊本県各界連

代表者 荒尾寿味雄

継続

## 第1回議会報告会での市民の方からの 質問に対する市長部局からの回答

**問** 市役所職員で自治会に加入していない職員がいると聞いたが、実状はどうかっているか。

**答** 平成24年度の調査では、職員315人の内、26名が未加入であり、その市内在住者は17名であった。未加入の状況を確認すると①アパートに住んでいるため ②親と同一敷地内に家を建てているため、というのが主な理由であった。

市長からは、「職員は自治会に加入し、積極的に自治会との連携を深めていくように」との指示があった。

**問** 「広報こうし」は自治会に加入していないところにも配るべきではないか。

**答** 広報等の行政情報は、区長会議の中で、自治会への加入、未加入を問わず、配布していただくようには願っています。年2回、それぞれの区長さんに対し、取り扱った戸数の調査を行っている。また、施設・学校・事業所等へも同様の調査を行い、配布をお願いしている。それでも届かない人のために、市民センターやコンビニ等に置いて、自由にお取りいただくようにしている。業者委託による、全戸配布は近隣市町と同様に行わないことになっている。

# 平成25年第3回定例会 主な審議案件と議決結果

		審 議 案 件	議決結果
承 認 1件		専決処分（平成25年度合志市一般会計補正予算（第4号））の承認	原案承認
条 例 2件		合志市税条例の一部を改正する条例 ほか1件	原案可決
予 算 3件		平成25年度合志市一般会計補正予算（第5号） ほか2件	原案可決
認 定 9件		平成24年度合志市一般会計歳入歳出決算 ほか8件	原案認定
請 願 3件		国立ハンセン病療養所の職員削減を行わず医療・看護・福祉の充実を求める請願書	採択
		「年金2.5%削減法」を廃止する意見書採択に関する請願書	不採択
		国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願書	継続審査
議員提出議案 2件		「地方税財源の充実確保を求める意見書」の提出 ほか1件	原案可決
契 約 1件		合志市防災行政無線更新整備工事請負契約の締結	原案可決
その他 4件		平成24年度合志市一般会計継続費精算の報告 ほか3件	報告終了

## 賛 否 表

- 議案第 49号 合志市税条例の一部を改正する条例
- 議案第 50号 合志市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 認定第 1号 平成24年度合志市一般会計歳入歳出決算
- 認定第 2号 平成24年度合志市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第 3号 平成24年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算
- 認定第 4号 平成24年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 請願第 2号 「年金2.5%削減法」を廃止する意見書採択に関する請願書
- 議案第 54号 合志市防災行政無線更新整備工事請負契約の締結

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	西 島 隆 博	松 本 龍 一	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	青 木 照 美	坂 本 早 苗	尾 方 洋 直	濱 口 正 曉	坂 本 武 人	吉 永 健 司	神 田 公 司	来 海 恵 子	木 場 田 孝 幸	松 井 美 津 子	木 村 祐 一	今 村 直 登	丸 内 三 千 代	東 孝 助	島 田 敏 春
議案第49号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	可決	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	不採択	5:15	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○	○	○	○
議案第54号	可決	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。（○は賛成 ●は反対）  
 ※池永幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

# 総務常任委員会

委員長 武人 幸一郎  
副委員長 坂本 濱元 西 隆博  
委員 健孝 敏春 恵子  
委員 永東 島田 来海  
委員 長 委員 員 員



コンビニ収納

## 平成25年度一般会計補正予算について

(まちづくり戦略室)

**問** フランス派遣旅費について詳細は。

**答** 九州パイオクラスター協議会を主体に、九州産業界と共同でオメガ3含有の資料を使った畜産物の実証実験を行ってきた。その資料の国内優先使用権利を得るため職員を派遣したい。

(企画課)

**問** コンビニ収納対応システム改修事業委託について、市内ではどのコンビニが利用可能か。

**答** コンビニとの直接契約ではなく収納代行業者及びコンビニとの3者契約を結ぶ事で、市内ほとんどのコンビニで利用可能になる。

## 平成24年度一般会計歳入歳出決算について

(財政課)

**問** 執行残について予算に問題はなかったか。基金積み立てで市民サービスに影響が出ているか。

**答** 影響が出ていないと考えている。執行残については、基準は無いが、補正額の増加等いくつかの要因があったと捉えている。基金については、扶助費の伸び、還付金の発生、施設整備や普通交付税の一本算定など合志市の将来を鑑み積み立てを行っている。

(市民課)

**問** 年度途中での須屋支所移転で影響は無いか。

**答** 特にトラブルは無いが、駐車場や移転を知らなかったとの声があった。

(環境衛生課)

**問** 狂犬病予防事業において、接種率が低いと聞かが状況と未接種への対応は。

**答** 接種率は、61%で、今後も周知と啓発に努めていく。

**問** ゴミ減量化20%を掲げているが現状は増加傾向にある。今以上の努力が必要では。

**答** 減量化に向けて、分別の更なる細分化や、啓発を行い市民にご協力頂けるよう努力していく。



ゴミ収集

(商工振興課)

**問** これまで、多くの費用を投入してきたが、地域ブランド協議会の成果は。廃止も含めて検討すべきでは。

**答** 本来の目的は、農産品や加工品を特産品として合志を広くアピールする事業だが、全市的な活性化に寄与しているとは、言い難い。今後は、本来の目的に向かい努力していく。



## 【反対討論】

平成24年度は、年少扶養控除廃止や、年金の引き下げで市民の生活が苦しい年度になったが、市は、財政苦を理由に増税を行ったにもかかわらず、9億6千万円の赤字で、内、5億円が基金繰り入れという、市民に痛みを押しつけた年度決算は認められない。

## 【賛成討論】

公債費は、現状、実質公債費は低下という結果を残し、財政規律を遵守した年度になった。その状況下で市民サービスを低下させず赤字という事は、評価でき、概ね良好で誠実な予算執行であり認められる。

他、税条例の一部を改正する案件2件があり、活発な議論がなされました。



# 文教経済常任委員会

委員長 青木 照美  
副委員長 松井美津子  
委員 今村 直登  
委員 木場田孝幸  
委員長 濱口 正暁  
委員 坂本 早苗  
委員 上田 欣也

## 平成25年度合志市一般会計補正予算について

(学校教育課)

**問** 日本語指導員派遣とは。

**答** 小学校2年生で日本語の不由な中国籍の児童が、合志南小学校へ転入する。授業中、主に国語算数の個人指導を行う。その指導員を派遣する事である。

(農政課)

**問** J A 菊池西瓜集出荷貯蔵施設について。

**答** 入札で当初予算より57・5%減額となった。入札は代行施工方式で熊本県経済連が実施した。安価になったのは、業者の努力によるものである。

## 平成24年度合志市一般会計歳入歳出決算について

(学校教育課)

**問** プール監視安全管理体制について。

**答** 夏休みのプール解放は、PTAの運営になっている。命に関わる重要な問題なので、基本的対応マニュアルをPTAと協議の上、作成する。

**問** 小学校空調設備について。

**答** 工事は、児童の授業の迷惑にならないよう夜間、休日、冬休みを活用する。新年度は間違いなく

利用可能である。

(生涯学習課)

**問** 市スポーツ推進委員配置事業の今後の対策は。

**答** 市開催行事等へスタッフとして協力いただいている。今後はスポーツ推進委員の選任方法や報酬などについて検討する。

(人権啓発教育課)

**問** 人権啓発運動団体活動補助金交付への指導について。

**答** 補助金交付要綱、市補助金等交付規則に基づき、関係書類、通帳、領収書、関係文書などの提示を求め、つぶさに確認して改善すべき点を改善指導した。補助金については、その分を減額し交付した。

(建設課)

**問** 市道の登記事業について。

**答** 登記については、その都度行っている。

**要望** 過去の未登記物件がかなりあるので、今後発生させないように執行部に対し要望した。

(都市計画課)

**問** 市営住宅の空室の増加について。

**答** 現在、全体で13部屋の空室がある。入居させるための補修費にかなりの額を要する。修繕費の年間予算が300万円しかなく、入居中の住宅補修を優先しているため、空室の補修まで予算が回らない状況である。その原因で増加した。

め、空室の補修まで予算が回らない状況である。その原因で増加した。

【反対討論】

人権啓発運動団体への補助金支出に反対する。今の差別解消のやり方は、差別する側を指導するのではなく、国民が悪かったと決め付けて教育している。差別をする側をもっと指導すべきである。

【賛成討論】

日本国内では生まれた場所や外見による差別事象がある。世界ではまだ人種差別が残っている。解放子ども会学習会事業は、必要であり賛成する。

## 平成24年度合志市下水道特別会計歳入歳出決算について

**問** マンホール振動の苦情について。

**答** 以前に比べると少なくなっているが、苦情はあっており、上下水道課で調査したり、建設課の道路改良工事に併せて対応している。

## 平成24年度合志市水道事業会計利益の処分及び決算について

**問** 滞納者に対する給水停止について。

**答** 平成24年度は、全体で138件の給水停止を行った。



ヴィーブル床工事視察



塩浸川浄化センター視察

# 健康福祉常任委員会

委員長 木村 祐一  
 副委員長 丸内三千代  
 委員 神田 公  
 委員 尾方 洋直  
 委員 後藤 修一  
 委員 松本 龍一

## 平成25年度合志市一般会計 補正予算について

(福祉課)

**問** 児童発達支援と放課後等デイサービスの対象人数について。

**答** 平成24年度実績として利用した延べ人数は、障害児通所給付費のほうでは1,035人で、児童相談をされている分が81人となっており、この障害児通所給付費の内容は、児童発達支援と放課後等のデイサービスがある。

(子育て支援課)

**問** 児童福祉費の設計委託料について。

**答** 学童保育施設を平成26年度に建設するため、平成25年度に事前申請が必要になり、そのため図面等の作成委託料である。内容は合志南小、西合志東小とも2階建ての施設を考えている。

## 平成24年度合志市一般会計 歳入歳出決算について

(福祉課)

**問** 生活保護費の医療費扶助の減について。

**答** 平成23年度から24年度の金額は2,000万円以上の医療扶助の減である。原因は、入院の扶助で人数減が大きい。精神疾患等の長期入院患者数は変わらず、3大病病等の入院による扶助額は減って

いる。

(健康づくり推進課)

**問** こころの体温計システム運営管理業務委託について分析は。

**答** 実人数については、個人情報につながるものでアクセスを消しているのかわからない。ただ、システム上はできると聞いている。今後は、その実数把握と相談件数を把握できればと思っている。

(子育て支援課)

**問** こども医療費助成事業の増について。

**答** 件数は年々伸びている。償還と現物の件数の違いでいうと、平成22年度償還(保護者からの請求)件数76,000件、23年度67,000件、24年度60,000件である。現物(病院からの請求)のほうは、平成22年度48,000件、23年度71,000件、24年度79,000件である。

(高齢者支援課)

**問** 特養ホーム待機者数は。

**答** 合志市には特養ホームが2カ所あり、重複分を考慮して150〜200人ぐらいである。今年度地域密着型で58床できるので、100〜150人ぐらいになる。

## 平成24年度合志市国民健康 保険特別会計歳入歳出決算 について

(健康づくり推進課)

**問** 鍼灸費について

**答** 平成25年度については一世帯当たり30枚にしている。この鍼灸券は高齢者支援課でも配布している。

【反対討論】

国保会計の現状として制度的な問題について反対である。

【賛成討論】

国民健康保険は、医療を安心してかかる制度であり賛成である。

## 平成24年度合志市後期高齢 者医療特別会計歳入歳出決 算について

(高齢者支援課)

**問** 後期高齢者健診受診者数が減った理由は。

**答** 健診時期が限られている事などがあり伸び悩んでいる。来年度から後期高齢者医療保険でも人間ドックを開始する予定である。

【反対討論】

制度設計そのものが間違いである。また県全体での広域連合というのも各自自治体の特性を失わせる医療制度であるため反対である。

【賛成討論】

現状では制度を遂行していくべきであり賛成する。

## 「年金2.5%削減法」を廃止 する意見書採択に関する請願書

【反対討論】

今後、年金制度を維持していくためにも、また何より今の若い世代の方にこれ以上負担を強いることはできない。今の受給者には厳しい状態であることは理解できるが反対する。

【賛成討論】

これ以上の削減、あるいは生活が困窮していく中で公的年金の削減はするべきではないので賛成する。



障害者支援施設 レンガの家視察

# マニフェストの

## 成果と課題

吉永 健司 議員



**吉永** 荒木市長誕生から3年半が経過した。就任前、後の心境の変化は。  
**荒木市長** 以前は、行政に対し夢の実現という形で提案をしてきたが、取り方によって無理難題を押しつけているということが理解できた。

また、職員がマランランランナーとすれば、任期4年の短距離ランナーであり時間の使い方、考え方で私の努力が幾分欠けていたと考えている。

**吉永** 5本の政策、47の事業を掲げているが、評価と課題は。

**まちづくり戦略室長** 平成24年度末で35本を実施中、9本が検討中、3本が中止である。

**吉永** 実施中、検討中の事業で課題は。  
**まちづくり戦略室長** 財政的な部分で負担が大きいかことや規制緩和が進まず、市街化調整区域と南部地域の格差が大きくなっていること。

**吉永** 新たなマニフェストを作成するつもりは。

**荒木市長** 今期に関して作るつもりはないが、子どもたちの未来のため、多額の借金を残さないよう、財政規

律を堅持し稼げる市を目指し、安全・安心のまちづくり「熊本合志署」、「スマートOC」、「中九州高規格道路」等数々の課題解決に向けて1000点は取れなくても合格点は取れるよう努力するが、残り半年では課題解決は難しいと考える。

そのため、多くの課題解決と夢の実現に向け次期市長選挙に出馬する。



# 待機児童解消を！

来海 恵子 議員



**来海** 市の課題として北部地区の活性化とバランスとありました。保護者から「朝の10分・20分、夕方の10分・20分はすごく貴重で、南部地区から北部地区の保育園への送迎は大変」との声を多数伺う。また、2年前に議会の研修で千葉県流山市に行ったがここでは駅ビルの中の保育園をステーションにして、園児を他の園にバスで送迎している。市も南部地区にステーションを設け、既存地区の保育園に送迎したら、北部地域の活性化とバランスを取ることもつながる。自宅から遠い北部地区の保育園でも、ステーションで送迎すれば保護者の負担も少なくなるのでは。

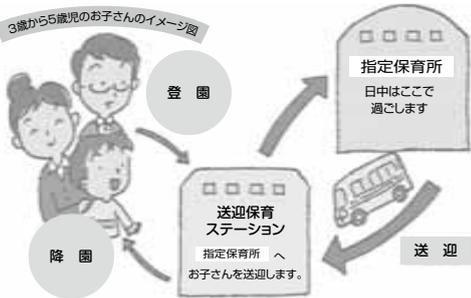
**子育て支援課長** 入所希望者の多い地域に送迎の場所を設け、入所保育園までバスで送迎するという送迎保育ステーションは、人口差の激しい本市にとっては有効な施策の1つと考えられる。今後、検討したい。

**来海** 子育て中の保護者の相談にじっくり乗ってくれる。「保育コンシェルジュ」を設けたらいかがか。

**子育て支援課長** 保育園からも、コンシェルジュ配置の要望があがっている。保育などに関する専門の職員の配置は、事務処理上も有効であると考えられる。そういった知識を持った職員が必要であるかなどを、「コンシェルジュを配置している市町村に問い合わせながら、配置について検討をしたい。

**来海** 少子高齢化の波は必ず合志市にもやってきて、その中では特色のある保育をする保育園が生き残れると思う。そんな保育園は、卒園児や保護者が後押ししてくれる。保育園も、しっかりとした特色をもった保育をされるようお願いする。

願っている。



# 自治基本条例の啓発で 市民提案を活発に！

上田 欣也 議員



**上田** 菊池恵楓園将来構想庁内検討会は6月議会以降、開催されたか。

**企画課長** まだ開催していない。

**上田** 検討会の開催予定と議題は。

**企画課長** 本議会終了後に開催予定である。7月のハンセン病療養所所在市町連絡協議会で承認された決議書にあるように、各療養所において、国・所在県・所在市町及び入所者自治会の定期的協議の場を設けるために、その実現と協議のテーマを整備したいと考えている。

**上田** その連絡協議会での成果は。

**健康福祉部長** 7月11日、12日に岡山市、瀬戸内市で開催され、市長、議長、私の3人が出席している。

今回の総会決議では、第1に入所者の生活環境の整備及び医療看護、介護等療養体制の充実、第2に医師・看護師等の不足の解消、雇用職員の確保・充実・拡充を求めている。  
**上田** 実際にどういふ動きをするのか、スケジュールは。

**健康福祉部長** 国・県に対し、連絡協議会が10月から11月に陳情活動を行う予定である。

**上田** 自治基本条例にある情報の公開と共有について、どういう手段で実現しているか。

**企画課長** 昨年10月に情報提供の推進に関する要綱を改正、各種委員会等の会議開催の情報提供、また会議録の公開を行うようにしている。今年度はホームページの改修も行い、画面検索を容易にした。

**上田** 市民提案は公表されるのか。

**企画課長** まちづくり事業提案制度では5つの事業を認定し、広報等で紹介している。提案箱への提案は年1回処理状況を公表することになっているが、現在実施していない。関連する要綱がいくつかあるので、整合性を図り、公平な処理ができるように改正を行いたい。



提言いつでも受付中

# 非常勤職員の 待遇改善を！

坂本 早苗 議員



**坂本** 合志市の正規職員315人に対し非常勤・臨時職員は255人約45%にもなる。図書館司書の報酬を調べたところ菊池地域では最低であった。非常勤職員の報酬見直し、改善についてどう考えているのか。

**総務課長** 非常勤職員の報酬額はほとんどの職種で見直しがなく、安い額となっている。今後は近隣市町とのバランスを考えながら検討を進めたい。

## 図書館の運営体制は今のまま でいいの？

**坂本** 合志市立図書館は平成19年に課から班に格下げされ、平成24年には合志図書館の館長が廃止された。図書館長は西合志図書館、合志図書館、泉ヶ丘市民センター図書館の3施設の管理、移動図書館、天文台の運営など多岐にわたる業務の責任者になっている。県内でもトップクラスの成果を上げてきた図書館を今の体制で維持できるのか。

**生涯学習課長** 職員6名、非常勤職員25名の体制で運営している。不足

するところは生涯学習課の業務として捉え職員で補いながら取り組んでいる。

**坂本** 合志図書館は本館と間違われやすいので、ウィーブル図書館に名称を変えてはどうか。

**生涯学習課長** 検討したい。

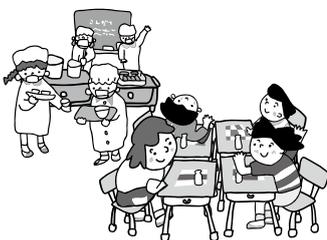
## センター方式と自校方式 学校給食に違いはないの？

**坂本** 新給食センターではすいか、メロン、マンゴーなどの果物の提供ができるようになると説明していたのはうそだったのか。

**学校教育課長** 自校方式に比べ配送時間がかかるので理解してほしい。

**坂本** 1台の配送車で4往復している。配送時間の短縮のために車を増やしてはどうか。

**学校教育課長** 配送車のトラブルの問題もあり、今後もう1台購入を検討したい。



# 体罰の根絶を!!

今村 直登 議員



## 体罰調査2021年

**今村** 8月9日、文科省は体罰調査の最終結果を公表した。この結果の感想と合志市内の学校の実態は。

**教育委員長** 今日、静岡の高校でバレー部の顧問教師による体罰が報道されていた。体罰撲滅を強く取り組む必要がある時に、これが出たということに非常に怒りを感じた。調査結果の6,721件、14,208人という数字を重大と受け止めている。

**今村** 合志市内の学校では。

**教育審議員** 昨年4月から12月まで小学校3件、中学校4件です。いずれも保護者との調停は終わっている。

## 難聴者用磁気ループの設置を

**今村** 難聴者は、軽度の方まで含め600万人以上いるといわれている。高齢化社会が進むにつれ、ますます増加が予想される。引きこもり防止にもつながる。庁舎等へのループ設置を。

**生涯学習課長** 生涯学習課は多くの施設を管理している。公共施設なので、多くの市民の皆さまに利用していただいている。バリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮した利用しやすい施設でなければならぬと思う。近隣の町で設置しているところもあるので、調査研究を行う。

## 日本国憲法2021年

**今村** 安倍政権は、憲法を改悪して日本を戦争する国にしようとしている。日本は憲法9条によって68年間戦争をしなかった。市長はじめ、市職員は市民の命・くらしを守る立場から、また公務員として憲法を守る義務がある。こういう動きに対してどう考えているか。

**市長** 今、マスコミで評論家等の方々がいろいろ話されている。過去地方公聴会等が行われていた。TPPの問題でもそうだが、もっと国民的議論が行われることを望んでいる。

# 安心して受けられる介護制度を!

濱元 幸一郎 議員



**濱元** 厚生労働省は9月4日、介護保険で要支援と認定された高齢者を保険給付の対象から除外するという方針を示し、これまでにない介護保険の改悪を進めようとしている。合志市への影響と見解、対策は。

**高齢者支援課長** 要支援を介護保険から切り離し市町村事業で実施すると、自治体の体力でサービスの種類や内容にはらつきが出たり、財源次第では十分なサービスの提供ができなくなる。

**濱元** 国は要支援を介護保険から切り離して市町村任せの新しい地域支援事業に移そうとしている。しかし、現在の地域支援事業に使える金額は介護給付費の3%。合志市では9千万円から1億円。しかし実際の合志市の要支援の給付費は年間2億円。今の基準では大幅なサービスの切り下げが行われる。市民の暮らしを守るために、国に介護保険改悪反対と意見を上げるべきだ。

**市長** 既に市長会では受け入れられないと申し入れている。私も反対だ。

**濱元** 高齢者の介護保険料の負担は限界に達している。平成27年からの第6期介護保険事業計画では、一般会計からの繰り入れも行い、保険料の引き下げを行うべきだ。

**高齢者支援課長** 介護保険は相互扶助で能力に応じて負担するのが基本。一般会計からの繰り入れは十分な検討が必要かと思う。

**濱元** 経済的な理由で介護を受けたくても受けられない深刻な事態がある。市独自の利用料の減免制度を作るべきではないか。

**市長** 27年からの改正までには一つの見解として実施していきたい。



# 早急な 待機児童対策を！

神田 公 司 議員



**神田** 厚生労働省が9月12日に待機児童数を発表した。最も多いのが熊本市の180人、次いで菊陽町143人、合志市105人、益城町104人。現状の待機児童数は。

**子育て支援課長** 192人で、うち85人の保護者の方が休職中という状況。また、80%以上の方が3歳未満で本年度末には250人程度になるのでは。

**神田** 本年度、認可保育園と家庭的保育（保育ママ）の定員をいくら増やしたのか。

**子育て支援課長** 認可保育園は昨年度に比べ10人の定員増を行っており、家庭的保育は現在30人の受け入れを15人程度増やすことができる。

**神田** このペースでは足りないのではないのか。今年度の一戸建てが500戸を超えることと、市街地域もアパートがさらに建っている。新築の家だと1・6人から1・7人、中学生までの子どもがおり、そのうちの7割が未就学児。うち8割が3歳未満で450人弱ぐらいの子が保育園の対象児童となる。新たな保育

園の募集を早めないで、待機児童はさらに増えていく。事態としては深刻だ。

**子育て支援課長** 確かに保留児（待機児童）が増えていく。来年度は、既存園の分園、また新設で定員60人ぐらいいは増やせる見込みが立ち、途中からでも60人ほどの定員増は可能。今後3年間で施設整備等を行い、認可保育園の定員を300人ほどは増やす予定にしている。現在のところ公募は考えていない。

**神田** やはり新しい園を定員120人ぐらいいのところが2カ所ないと、この数では持ちこたえられない。

**市長** 私が最も悩んでおるのは即効性、もう一つは調整。定員300人増で解決をす

ると思っ

た。とにかく今整備できるものは緊急に整備をして、もう一度担当課と十分話をしたい。



家庭的保育室「ぼっぼ保育室」

# 農業問題について

木村 祐一 議員



**木村** 農地の集積と基盤整備は、一体化すべきであり、特に合生地区においては急務である。現状と今後の課題、進捗状況についてお尋ねしたい。

**農政課長** 今年7月に推進会議を開催し、今後の事業方向について協議をした。現在国において、貸し手の負担がない新しい事業が検討されており、その内容がわかり次第、全地権者に再度意向調査をおこない、その結果に基づいて推進委員会と取り組む。



合生地区農地の状況

**木村** 是非今度の機会に成就させていただきたい。併せて他の狭い農地における畦畔除去事業等も対象になっているようで、強く推進していただきたい。

## 雨水対策について

**木村** 昨今の降雨量については異常

性が感じられ、甚大な被害も発生している。防止策として更なる調整池の設置が求められるが。

**事業部長** 調整池は集中豪雨による洪水被害に備え、雨水を一時的に貯留させ下流域への影響を軽減させることで設置している。どういった雨水対策が必要か、事業部内で調整し県とも協議しながら進めたい。

## 河川管理について

**木村** 特に上生川においては土砂の堆積や葦等の繁茂で景観を損ない、豪雨時における河川機能への心配もある。河川の浚渫と護岸工事の必要性があり、県への強い要望が必要と思うが。

**建設課長** 河川の管理については、ほとんどが県の管理となっており、上生川に限らず機能が低下している河川も見受けられる。県としても財政状況が厳しく、すぐに対応できるものではない。振興局でおこなわれるヒアリングにおいて、今後も強く要望したい。

# 子ども安心カード について

松井 美津子 議員



**松井** アニメを活用したまちづくり、アニメクリエイター育成事業「合志響創塾」について。

**まちづくり戦略室長** マンガや、アニメーションが持つわかりやすさ親しみやすさを産業界で活用し、若い世代の新しい職業としてのクリエイターを育成できるような仕組みづくりに取り組んでいる。

**松井** 保育所緊急整備事業、家族的保育改修事業、認可外保育施設運営支援事業のうち、B型について待機児童解消加速化プランへの参加の状況について。

**子育て支援課長** 国の主要13事業のうち、市が申請した3事業につきすべて採択されている。保育所整備緊急事業は、保育施設の大規模改修等につき、補助を出し定員増を行う。家庭的保育事業は、3か所開設しているが1か所増やしたい。認可外保育施設運営支援事業は認可保育園と同じような施設の基準、職員配置の保育園に対し、助成する事業である。

けが、病気、アレルギー等の緊急搬送時に保護者の同意書を備える事に、消防署も前向きに協力を考えている。「子ども安心カード」のような緊急医療情報の備えはあるか。

**学校教育課長** 緊急時の対応として、保健調査票、緊急連絡票を保管して、いてその台帳が「子ども安心カード」に代わるものである。



**松井** メディアリテラシー教育の必要性和教育委員会でのSNSの活用や、ネット依存の問題について。

**学校教育課長** 市消費生活センターからリテラシーの必要性の提言もあり、県教育長からも緊急アピールが出され、リテラシーの向上が急務である。授業参観、PTAの会合等で十分啓発をしていきたい。

# ごみ減量化計画、その啓発と動機づけの徹底を！

濱口 正暁 議員



**濱口** 合志市のごみ減量化計画では平成23年度から27年度の5カ年で平成21年度比、一般廃棄物の20%減量を目指している。2年半経過の、今の実績は。

**環境衛生課長** 基準の平成21年度総量は12,551トンで、平成24年度実績は13,332トン、目標値11,616トンに対して1,716トン、14.8%増となっている。人口増があるので1人当たり換算すると目標値に対して11.9%の増となっている。

**濱口** 基準年度より多くなっているこの現状に対して今後の対応は。

**環境衛生課長** 平成25年度よりごみ減量化委員会（県立大学教授を委員長に16人構成）を設置して検討を行うと同時に、環境・ごみ問題コンサルタントに分析・減量化の計画を委託して合志市に合った対策を考えて行きたいと考えている。

**濱口** 先進地の例、菊池環境保全組合における燃えるごみの内容分析、更には地域で進めているごみ問題に

対応した経験からすると、減量化には市民一人ひとりの理解を得る事が大事でそのためには徹底した啓発とその動機づけがキーポイントと思うがその対応は。

**環境衛生課長** 現在進めている減量化委員会で練り上げた具体案を全住民に周知すること、更にモニター事業とかモデル事業等も取り入れて実績を積み上げて行きたい。

**市長** 減量化委員会それに委託コンサルタントの指標をもらいながら、ごみ減量内容を明確にし、ごみ再利用の活路も見出しながら、目標値の再設定を行いたい。予算との絡みもあるので全事業をみる中で市民の協力を得るための説明を十分にを行い、確かなごみ減量を進めたい。



すずかけ台資源物回収風景

# 追跡 あん質問はどぎゃんなった？

一般質問で取り上げられたことが、実現しました

## 合志1300年の歴史事業開催

西暦713年の「風土記」編纂を「こうし」命名の起源とすれば、今年が1300年目になる。これを機に郷土の歴史を振り返るような事業を行ってはどうか。

(H24. 6月議会)

## 住宅リフォーム助成事業開始

合志市内には築30年を越える住宅が6,000件余りあるなど、住宅リフォームの需要が高いと思われる。そういった市民に対し利便性を図り、また市内中小企業の活性化のため、住宅リフォーム助成事業を行なってはどうか。

(H24. 6月議会)

合志生誕1300周年の冠を付けた事業や、市内外へのPR等を検討して行きたい。



合志郡記念碑(竹迫城跡公園)

「第9回特別展合志1300年の歴史と共に」が11月9日から平成26年2月9日まで合志歴史資料館(ヴィーブル3階)で開催されています。

市民が住宅の増改築工事を、市内の業者で行なった場合、その一部を助成することにより、工事件数の増加が見込まれる。市内にある住宅関連の中小企業の仕事確保や、地域経済の活性化にも役立つと思われるので、地域振興策の一つとして検討して行く。



助成金は、市内登録店舗で利用できる商品券として交付されています。

# 議員参加の主な行事



**菊池地域議会議員  
親善スポーツ大会**  
8月17日(土)、市中央運動公園で菊池地域2市2町の議会相互の親睦と融和、健康増進をはかるためグラウンドゴルフ大会が行われました。



**企業等連絡協議会  
ミニバレー大会**  
9月7日(土)、ヴィーブルで27チームの参加があり、市議会チームも参加し健闘しました。



**長寿を祝う会**  
9月12日(木)、国立療養所菊池恵楓園で行われました。「かえでの森」の園児によるアトラクションなどで賑わいました。



**第8回  
合志市人権教育大会**  
9月21日(土)、ヴィーブルで約500名の参加がありました。ソプラノ歌手の渡辺千賀子さんの「おはなしコンサート」差別的ない明るい社会をつくるために」と題して講演がありました。



**2013  
こうし市秋祭り**  
10月6日(日)、カントリーパークで、合志1300年歴史事業「2013こうし市秋祭り」が開催されました。市内外から家族連れなど、約15,000人の来場者で賑わいました。

29号の議会だよりで誤りがありましたので訂正します。

11ページ 文教常任委員会

副委員長 **尾形** 洋直 → 副委員長 **尾方** 洋直

# 議会の動き

(7月～9月)

【7月】

- 2日 大分県豊後大野市議会より「行政評価の取り組みについて」視察研修
- 3日 長野県茅野市議会より「地域公共交通について」視察研修
- 4日 岩手県奥州市議会より「総合計画と連動した行政評価システムについて」視察研修
- 5日 総務常任委員会
- 9日 議会広報調査特別委員会
- 17日 議会広報調査特別委員会
- 19日 全員協議会  
菊池地域市町議会正副議長、正副常任委員長等研修会(菊陽町)
- 22日 議会広報調査特別委員会
- 23日 兵庫県赤穂市議会より「『熊本響創塾』について、ほか」視察研修
- 24日 秋田県由利本荘市議会より「合志市特産品地域ブランド推進協議会について」視察研修
- 29日 議会広報調査特別委員会
- 30日 全員協議会  
常任委員会

【8月】

- 16日 熊本県市議会議長会  
熊本県知事との意見交換会(熊本市)
- 17日 第7回菊池地域議会議員親善スポーツ大会(合志市)
- 19日 健康福祉常任委員会
- 20日 全員協議会  
総務常任委員会  
文教経済常任委員会
- 22日 兵庫県芦屋市議会より「行政評価について」視察研修
- 27日 議会運営委員会
- 28日 平成25年度熊本県北市議会連絡協議会(阿蘇市)

【9月】

- 3日 議会運営委員会  
第3回(9月)定例会開会
- 9日 議会広報調査特別委員会
- 19日 議会運営委員会  
全員協議会
- 24日 第3回(9月)定例会閉会

# 一部事務組合行事報告

【出席議員】

- 2013年7月10日 池永・島田  
**菊池広域連合施設視察研修** 来海・吉永
- 2013年7月22日 木場田  
**菊池環境保全組合議会全員協議会** 坂本武
- 2013年8月19日 木場田  
**菊池環境保全組合議会全員協議会** 坂本武
- 2013年8月22日 木村・松井  
**第2回菊池養生園保健組合議会定例会** 尾方・青木
- 2013年9月2日 木場田  
**菊池環境保全組合議会全員協議会** 坂本武
- 2013年9月27日 木場田  
**菊池環境保全組合議会全員協議会** 坂本武

## 平成25年第4回定例会日程

### お知らせ

今回の定例会は12月2日(予定)からの開催となります。  
ぜひ、傍聴においでください。

月	日	曜	会議名	主な内容
12	2	月	本会議	市長提出議案上程及び説明
	6	金	本会議	質疑、委員会付託
	9	月	常任委員会	付託事件の審査
	10	火		
	12	木	本会議	一般質問
	13	金		
	16	月		
18	水	本会議	委員会報告 (質疑、討論、表決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、表決)	

※日程は、変更になる場合があります。

### 表紙のはなし



10月20日、ヴィーブル全館を使って「子どもフェスティバル」が開催されました。子ども約1,800人、大人約600人の来場があり、たいへん賑わいました。

## 合志町 高千穂神楽の 歴史



後継者育成風景

竹迫日吉神社の合志町高千穂神楽は、宮崎県高千穂

に発祥した神楽を明治21年(1888年)に日吉神社氏子の有志によって現地で研さんを重ねて伝承したと伝えられています。しかし、第三代の上島弘さんの説によると、初代の坂本卯一さん他6人が伝授したのは泗水町永の神社の神楽であり、住吉にある住吉日吉神社の神楽も同じ神楽であるということです。現在、宮崎県西臼杵郡高千穂地方で行われている神楽は、仮面をつけて一晩中踊り明かす夜神楽で日吉神社の神楽とは趣を異にしています。

今の神楽は昭和52年(1977年)に地元上庄区の後援を受け、合志町高千穂神楽保存会を組織し、第五代に引き継がれました。昭和53年(1978年)3月に合志町文化財の指定を受け、昭和55年(1980年)には熊本県第六回ふるさと顕彰の栄誉を浴するなど高く評価されました。

現在は、百年を超えるこの郷土芸能を絶やさない、日々厳しい練習を積み、平成8年(1996年)に上庄区民の支援を受け区の若者12人(当時21歳～31歳)が第六代を

継承しました。平成20年(2009年)からは、上庄子ども会と連携し小学生を対象に、子ども神楽教室を実施し、後継者育成にも取り組んでいます。

(市のホームページより)



上庄城山まつり

### 議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春  
副委員長 今村 直登  
委員 上田 欣也  
委員 後藤 修一  
委員 松本 龍一  
委員 西嶋 隆博

「議会とは行政のチェックと同時に、市民の不安をやわらげるために知恵を絞る機関でもあるべきでしょう。」  
議会は行政のチェックと同時に、市民の不安をやわらげるために知恵を絞る機関でもあるべきでしょう。

### 編集後記

いつまでも暑い日が続いていたので、やっと秋が来たという気候になりました。異常気象と一言で片づけてしまえないような災害も起きています。

合志市は、大きな河川もなく急傾斜地も少ないので、災害とはあまり縁がないような気がしますが、地震や台風は時と場所を選ばず、いつ来ても不思議はありません。東洋英和女学院大学学長の村上陽一郎さんは、「安全と安心はよくセットで議論されるが、全く異なる概念である。安全はリスクと対になるが、安心の反対語は不安であり、為政者としては、人々の不安にどれだけ応答できるか、という全く次元の異なる政治的な課題も抱えることになる」と書かれています。

